



前回に続いて、歴代の校長先生の紹介を平成の時代を中心に簡単にまとめてみました。

第二十二代「吉堤 一三」(平成元年四月から平成五年三月 商業)「防府市出身 昭和三十一年から本校勤務 その後、教頭・校長へと昇任される 社会人を対象とした情報処理教育で開放講座を開始され、商業教育の発展と進路指導の充実に大変貢献されました。本校初の小学科制導入の検討に着手され、平成六年度から小学科制(全日制 商業科・情報処理科)がスタートしました。サブグラウンド(テニスコート6面・多目的グラウンド)完成。下商ハイク開始。退任後は、山口大学・下関市立大学講師 現在は、下関市内にご在住。

教訓 林 俊行

から就任 学生時代はバレーボール部名選手 創立百十周年記念事業として、万古館竣工・小学科(商業科・情報処理科)導入をされました。平成六年度に第一期情報処理科の生徒が入学。創立百十周年記念式典、念願の下商百年史(記述編上下)を刊行されました。退任後、柳井商業高校校長へ 現在は、宇部市内にご在住。

第二十四代「小林 堅而」(平成七年四月から平成十年三月 商業)「下関市出身 和四十五年から本校勤務 柳井商業高校教頭から着任 一日体験入学を開始され P.T.A. 教育後援会組織改定に意欲的に取り組まれました。定時制課程に三年修業制を導入。平成七年夏の甲子園大会出場(三回戦敗退)退職されて間もない平成十年夏に急なご病気でご逝去。

第二十五代「林 佳二」(平成十年四月から平成十二年三月 商業)「宇部市出身 徳山商業高校

業)「防府市出身 萩商業高校より着任 下商インテリジェンスハイスター構想のまとめ役として活躍されました。最新のパソコン133台を一挙導入。誠実で熱心に商業教育の発展に取り組みました。硬式野球部創部百周年記念行事。退任後は防府商業高校校長へ 現在は、防府市内にご在住。

第二十六代「城島 勉臣」(平成十二年四月から平成十四年三月 社会(地歴))「宇部市出身 長府高校より着任 インターシップ制度を開始されました。キャリア教育実践モデル地域の指定。スポーツ活動にご熱心で、教育環境整備にも努められ、健康推進優良校受賞。退任後は、岩国商業高校校長へ 現在は、宇部市内にご在住。

第二十七代「永富 康文」(平成十四年四月から平成十五年三月 社会(地歴・公民))「美祿市出身 山口県庁学事文書課から就任 完全週五日制度開始 僅か一年間でしたが、意欲的に教育環境整備に取り組みました。奥様も元本校英語科教員として、勤務されました。退任後、防府教育事務所長へ 現在、美祿市教育長としてご活躍 下関市内にご在住。

第二十八代「三吉 英太」(平成十五年四月から平成十八年三月 商業)「徳山市出身 山口県教育庁から就任 学生時代はバレーボール部名選手 創立百二十年記念行事(コンピュータシステム開始) 発行 下商百二十年記念誌刊行 金融教育指定校 チャレンジショップ開始 高大連携(東亜大学・梅光大学) 調印 講堂将来構想検討委員会の立上げ 退任後、防府商業高校校長へ 現在、山口総合教育支援センター所長としてご勤務 防府市内にご在住。

第二十九代「伊藤 薫」(平成十八年四月から平成二十一年三月 英語)「下松市出身 山口高校より就任 空調設備(全日制)設置 高大連携(下関市立大学) 調印 平成二十年春の甲子園大会出場 退任後、華陵高校校長へ 現在、下松市内にご在住。

第三十代「木村 静男」(平成二十一年四月から平成二十三年三月 商業)「下関市出身 山口県教育庁より就任 本校卒初の校長 本校学生時代は、新聞部員として下商新聞の編集・発行に熱心に活動された。運動も卓球を特技とされた。創立百二十五周年記念行事 発行 現在、宇部市内にご在住。

第三十一代「山本 貴司」(平成二十三年四月から平成二十五年三月 商業)「山口市出身 平成十六年四月から平成二十年三月まで本校教頭 萩商工高校より着任 学生時代はサッカー名選手として活躍 山口国体で本校選手が活躍の原動力に 講堂改築工事開始 創立百三十周年を記念して新制服(男女)へ 退任後、西京高校校長へ 現在、山口県高校 P.T.A. 連合会事務局次長としてご勤務 山口市内にご在住。

第三十二代「新屋 道春」(平成二十五年四月から現在まで 理科)「萩市出身 豊北高校から着任 講堂竣工式 発行 創立百二十周年記念行事など 発行 平成二十七年夏の甲子園大会出場 未来に奮める人づくり」を本校教育目標に掲げ「天下の下商」を誇りに志の高い生徒の育成に取り組みされている。

創立以来、一貫して単独商業高校として我が国の商業教育の歴史と共に確実に歩んでいる本校は、永い歴史と伝統の中で幾度の栄光と苦難の道を歩んで現在に至ります。三十二代に亘る歴代の校長先生のご功績を改めて感じることが出来ます。